ＰＢＣ　流れる箱

ウナム　明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ＰＢＣ　流れる箱

【Ｎコード】
Ｎ０７８６ＢＨ

【作者名】
ウナム　明

【あらすじ】
血液に流れるナノマシン。
それがもたらした革命は思わぬ方向へ転がっていく・・・・・。

血に流れるパソコン

【一般向け科学誌「コンピュータエルゴノミクス」より抜粋】

血に流れるパソコン！？―最先端ナノマシン事情に迫る

我々人間の体内には血液が流れています。
血の道路である血管を流れ、様々な臓器に酸素や栄養を運んでいるのです。
また、各細胞や臓器の二酸化炭素や老廃物を集めてしかるべきところまで運ぶ役割や、
体内に入り込んだ細菌を殺す役割などその活躍は多岐にわたり、人間にとってもっとも重要なものの一つです。

マイケル・ディラック教授もそんな血液に大いに興味をもっている一人です。
そうは言っても彼は医者ではありません。
彼の研究する分野はヒューマンインターフェース。
コンピュータを人間がより使いやすくするように研究していく分野です。
彼は脳の思考で動く義手や義足、ＰＣ画面など様々なものを日々開発しています
そんな彼が今もっとも関心をしている分野があります

それは医療用ナノマシンです
ナノマシンが将来において非常に重要な働きを持つ可能性があることを論じています

ディラック教授「現在医療用ナノマシンというと、抗がん剤を適

切な臓器まで運んだり、
エイズ患者の失われた免疫能力を補助するための人口免疫抗体を思い浮かべます。
しかし、将来においてこのナノマシン技術が発達すれば血液の中にパソコンを忍ばせることができるようになるかもしれません。
（中略）
技術的には未確立ですが、将来ナノマシンの一粒一粒で相互通信が可能になればパソコンのみならず、
そこから考えるだけで高度な操作ができる機械を誕生させることも可能となるでしょう」
（中略）
技術的にはまだまだ壁が大きいですがそう遠くない未来、あらゆる人たちが何も困らず機械を操作できる
真のバリアフリーの時代が待っているかもしれません

DARPA

【ＡｎｏｔｈｅｒＰｒｅｓｓ通信社のインターネット配信記事】

ＤＡＲＰＡが新世代ナノマシン技術を開発＝医療・軍事分野で目覚しい成果に期待

米国国防高等研究計画局（ＤＡＲＰＡ）は２４日、記者会見を開き、ＤＡＲＰＡの本年度予算から一億ドル拠出された大型プロジェクト「ＰＢＣプロジェクト」にて一定の成果が出たことをを発表した。

ＰＢＣプロジェクトとは、あらゆる軍事行動をナノマシン技術によってサポートする計画で計画の根幹である「Ｐｅｒｓｏｎａｌ　Ｂｌｏｏｄ　Ｃｏｍｐｕｔｅｒ＝個人血液コンピュータ（ＰＢＣ）」から名称が取られている。

今回の成果発表ではＰＢＣのプロトタイプの完成のほか、次世代型ＯＳ、新通信規格なども発表され会場を大いに驚かせた。

プロジェクトマネージャーのＪａｍｅｓ　Ｇｏｒｄｏｎ博士は会見で「今回発表した技術群はまだまだ未発達で実用的ではないかもしれませんが、将来的にはこの技術が世界に大変革をもたらすことを確信しています」と話した。

Ｎａｎｏ　Ｍａｒｉｎｅｓ

【ＡｎｏｔｈｅｒＰｒｅｓｓ社のインターネット記事】

米国海兵隊ＰＢＣ本格導入へ＝メタボリックドミナンス計画の推進のため

米国防総省は５日、今後１０年間の戦略などを盛り込んだ中長期プランを発表した。
その中には陸海空各軍の大きな再編も含まれるほか、海兵隊の戦力増強プランの一環として
海兵隊成員へのＰＢＣ導入を進めることが盛り込まれている。

今回のＰＢＣ導入はＤＡＲＰＡ主導の「最高の兵士能力プロジェクト＝メタボリックドミナンス」に関係するものであり
基礎代謝を高めるナノマシンとエネルギー合成を補助するナノマシンを導入し、それを総合的にＰＢＣが制御することによって、不休・絶食で長時間活動できるという。

しかし今回のＰＢＣ導入については一部有識者などから反対の声も上がっており
波紋を呼ぶことは必至となりそうだ。

ローズウォーターさん・・・あなたにナノの導きを

【米国海兵隊　ローズウォーター伍長　サンディエゴポストのインタビューにて】
（前略）
彼は弊紙取材にたいして、興奮した面持ちで答えてくれた。

アレックス・ローズウォーター伍長
ＰＢＣは素晴らしいです。我々海兵隊の行軍能力を格段に高めてくれました。

私が特に素晴らしいと思うのは不休絶食で何日も過ごせるというところです
何日も野外訓練をしているとＰＢＣ導入前までは腹が減っても食事にありつけなかったり、疲れてヘロヘロで倒れそうでも小休止すらできないことがたびたびありましたが、導入後は違います。

そもそも疲れないし、空腹も感じないんですよ！万が一エネルギー切れになりそうになってもＰＢＣ側から外部のサングラスモニターに警告を表示してくれるので適切なタイミングで補給することができるんです。

私は新時代の幕開けをＰＢＣから感じずにはいられません！
いや、そう思うのも私がＳＦが好きだからかもしれませんが・・・・・。

・・・・・これは聞いた話なのですが、近々このＰＢＣのバージョンアップが行われて、銃器とタグ付けを行う機能を追加するらしいです。こうすれば自分の銃器以外扱えなくなりますので、鹵獲さ

れたりその場で奪われたりしても敵は使用できないわけです。
おまけに銃器に自壊機能まで付加させて、ＰＢＣ側が命じるかＰＢＣとの通信途絶から一定時間で
内部機構をズタズタにしてしまうようにするらしいです。
銃を落としたら減給ものですね。

将来的にはさらに様々な機能を付加する予定らしく、私個人としましては非常にとても否応なく楽しみであります。
（後略）

一般販売

【詠瓜新聞記事より抜粋】

民生用ＰＢＣ発売へ

蜜菱ナノ社が現在軍事用として広く使用されているＰＢＣ（個人用ナノマシン型コンピュータ）を3年から五年後までに一般販売することを決めた。

蜜菱ナノ社は基本となるＯＳなどの情報を一般に公開し、広く開発の手を広げる考えだ。

今回の発表の背景には、現在使われているＰＢＣの用途がここ数年爆発的に広がり、産業界から要望が相次いでいたことが考えられる。ＰＢＣが民間に普及すると、現在使われているありとあらゆるコンピュータ機器が大発展を遂げることは必至であり、大きく期待が持てる。

だが、一部有識者の間では、ＰＢＣという存在が将来的にプライバシーや犯罪などに大きく関わるだけではなく現在ある価値観を大きく揺さぶることになる可能性を危惧する声も上がっており、政府はこの問題を受けて近く有識者会議を設置する意向を示している。

ようこそ！ＰＢＣ

【ＰＢＣ取り扱い説明書に同梱の簡易パンフレット】

ようこそ！ＰＢＣ！！簡単　４ステップで導入！！

導入の前に：ＰＢＣセットアップキットが全て揃っていることを確認してから導入を開始してください

セット内容：ＰＢＣカプセル（赤いカプセル）×2、ビルディングピル（青いカプセル）３×５（五日分）、血中ナノマシン検査キット×１、セットアップリング×１

ステップ１　ナノを食べよう！

ＰＢＣの入っているカプセルを飲みます。でもちょっと待って！！カプセルを飲む前にまずはたっぷり食事を取りましょう。食後なるべく３０分以内にカプセルを飲んでください。ＰＢＣの吸収効率が落ちることがあります。

ステップ２　吸収を待とう！

ＰＢＣのカプセルを飲んだら１２～２４時間ほど待ちましょう！その間ナノマシンたちは吸収されて血中に流れ出します。適当な時間待ったら、セットに同梱の検査キットで血中にＰＢＣが流れていることを確認しましょう。

ステップ３　ナノのえさを摂取しよう！

検査キットの結果に問題がなければ、セットに同梱のビルディングピル（わかりやすく「ナノのえさ」とも呼ばれています）を取り出し、こちらも食事の３０分後を目安にカプセルを飲みましょう。
ビルディングピルは一回の摂取では必要十分量ではありませんので、毎食ごとに一個摂取してください。
三日ほど摂取したら再度検査キットで血中ナノマシン量を確認して、必要十分量であったならば次のステップへ、もし足りなかったら摂取を続け、半日ごとに検査キットで血中ナノマシン量を確認してください。

ステップ４　セットアップをしよう！

必要十分な量のナノマシンが揃いましたら、セット同梱のセットアップリングをどちらかの手の人差し指に嵌めてください。（サイズはフリーですので安心して指に嵌めましょう）
３０秒ほど待つとセットアップ開始のＢＧＭが流れ出します。

頭の奥から聞こえてくるような感覚に陥る事がありますが混乱せずに安心してＢＧＭを聞いてください
ＢＧＭが流れ終わると音声ガイダンスが始まります。
ガイダンスの指示に従ってセットアップを行ってください。
セットアップが終了すれば、全てのステップは終了となります。

これであなたもナノマシン世界の住人です！！
先に待っている先人達はこう言うでしょう

ようこそ！ナノ一ウェブへ！！

※ご不明な点などございましたら、各ＰＢＣの取扱説明書を読むか下記カスタマーサポートセンターへお問い合わせ下さい。

ＰＢＣカスタマーサポートセンター　ＴＥＬ０１２０－〇△××－〇〇××　ナノウェブアドレス：～～～～～～～～～（ＰＢＣ視覚補助機能でダイレクトアクセスが可能です）

ＰＢＣ仕様書

【ＰＢＣメーカー大手　ヒューマンテック社内部資料より抜粋】
開発名［ＨＴ－０５６］社内プレゼン用仕様書

ベース素材　高橋ナノ社製ネオポリペプチド

各ナノロン（ナノニューロン）間を血管壁内で直接繋げることにより強力な通信能力と膨大なデータ処理能力を実現した素材です。
また大脳新皮質内では別の働きをして各脳細胞間と相互結束し（注１）、各神経細胞間の働きを強化するほか
ナノロン自身も擬似的な脳細胞として働かせることも可能です。
記憶領域や、処理速度は理論上は無限大ですが、血中ナノマシン量にも限界がありますので、現行モデルの２倍から４倍ほどになるということです。

使用ＯＳ　フェアリーヴィジョン社第八世代ＰＢＣ－ＯＳ　イングラム－９８

フェアリーヴィジョン社（以下ＦＶ社）の新ＯＳです。擬似人格ガイド（注２）も本格的な人間の人格を模倣することに成功し、使用者は優良で優秀なアドバイザーが常に存在するかのような感覚に陥ります
もちろん擬似人格ガイドをオフにした状態でも各種機能はスムーズに扱うことができます。
ＰＢＣ汎用アプリケーションが問題なく動作するほか、拡張性にも優れており、軍事、産業、民間のニーズに答えることができます。

外部出力端子　ファントムスキンペインター（ＦＳＰ）

これはは現行モデルや他の端末との兼ね合いから、現在もっとも使われているものを選びました。
これは出力端子となる体（主に手の指先や手のひら）の表皮上に特定の色と模様を着色し、外部との接続を行うものです。
通常の電波遠隔操作も可能です。

注１：血管壁内で結合するときと同様に脳細胞にシナプスに似た枝を接続します。
注２：通常は視界には入らず音声だけですが、姿かたちを設定すれば視界上に表示することも可能です。

世界樹世界

［ナノウェブ用ゲーム情報誌　ナノ通最新号より抜粋］

ＰＢＣ新作ゲーム情報！！

☆ナインワールズ

ジャンル：ＭＭＯ（全感覚没入型）
メーカー：カテットエンターテインメント

北欧神話の世界で縦横無尽に冒険しつくせ！！
大ヒットＭＭＯ「ヒートランナー」でお馴染みのカテットエンターテインメントが送る完全新作ＭＭＯ

ストーリー
世界は終わりに向けて加速しだしていた・・・
終末を色濃く感じる世界樹の世界「ナインワールズ」で戦死したあなたは
神に導かれ不死身の戦士エインヘリヤルとなり復活する。
エインヘリヤルとなったあなたは何を見て、何を思い、何を決断するのか・・・？

システム
・全感覚没入型が作り出す圧倒的現実感（リアリティ）！！
本作ではいまだ開発されて間もないナチュラルフィールシステムを採用し
ＰＢＣとの接続が強化されることによって今までの感覚没入型ゲームとは一線を画す現実感を作り出すことに成功した。

プレイヤーは食べ物の味から、敵を切り伏せた時の触感、戦場の炎の匂いと言ったあらゆる感覚が現実とまったく同じに感じ取ることができる。

・徹底的に作りこまれた世界「ナインワールズ」

北欧神話を基に作られたナインワールズの世界は魔法が日常的に存在して現実世界とはかけ離れている。

にも関らず、現実とのギャップが感じられないほどの没入感を得ることができるのは、イジッツァブレイン社が開発したイメージ抽出ソフト「エコール」を使用しているからだ。

「エコール」は使用者の思い描いているイメージを感知して抽出するソフトで、会議などで使われるのが一般的だ。

今回プロデューサーの稲鮒氏の発案で、ナインワールズ製作に関っている全てのスタッフにエコールを使用してもらい、彼らが思い描く「北欧神話」観をイメージ化して抽出し、

それらのイメージを合成平均化して、今回のナインワールズの世界観を作り出した。

それだけにディテールの細かさは折り紙つきで、使われている言語から技術体系、種族の趣味嗜好と言った所まで細かいところまでよく作りこまれている。

稲鮒氏曰く

「今回イメージを思い浮かべて貰うにあたって、スタッフの方々にいろいろな注文を付けさせていただきました。迷宮の通路で敵が徘徊しているイメージとか、呪文体系にはどんなものがあるのかとか、本当にいろいろ聞いて回りました。スタッフの皆さんには本当に迷惑をかけまくってしまいましたね。この場で謝らせていただきます。みんな～ごめんネ！（笑）」

発売まであと一ヶ月、カテットの渾身の一作には期待が持てそうだ

世界樹世界（後書き）

そのうちこのゲームの話も作りたいものです

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n0786bh/

PBC　流れる箱

2012年10月18日10時46分発行